

CFAI第1期総括シンポジウム（オンライン併用）を開催

令和2年7月16日(木)13:30より農学研究科 大会議室より総務係のサポートによりオンライン併用の形式にてCFAI第1期総括シンポジウム(CFAIの成長と将来性-第1期(2015-19)の総括と第2期計画-) (主催: 東北大学大学院農学研究科、共催: 日本学術振興会研究拠点形成事業)を開催しました。本シンポジウムは、新型コロナウイルスの関係で4ヶ月遅れとなり、また感染防止対策によりオンライン併用の開催となりましたが、150名弱の多くの参加者があり、盛会のうちに終えることができました。

まず初めに、阿部敬悦 研究科長から、農学研究科におけるCFAIの位置付けとその取り組み、さらには将来性に関するご挨拶を頂きました。続いて、大変お忙しい中、本学を代表し、本学研究担当理事・副学長の小谷元子先生より、お祝いのお言葉を頂きました。小谷先生からは、CFAIの第1期5年(麻生 久センター長、高橋英樹センター長)の活発な活動に対し称賛のお言葉を頂くと共に、「北澤春樹センター長のもと、第2期CFAIを中心に、学内連携や国内外の共同研究がさらに加速し、農免疫研究を担う若手研究者の育成を進め、食の観点からヒトの健康を支える基盤と応用研究を発展させることで、東北大学のパワーを遺憾なく発揮して欲しい」とのエールを頂き、さらに「ポストコロナ時代を食の観点から考える上で、必要かつ大変重要な取り組みである」と大いに期待されるとのご助言も頂きました。

シンポジウムの具体的な内容は、高橋英樹 前センター長(副研究科長)より第1期5年間の取り組みと成果概要について紹介があり、その後、各ユニットからそれぞれの取り組みと成果、並びに海外拠点における共同研究トピックを中心に紹介してもらいました(ポスター参照)。休憩時間には5年間の軌跡をフォトアルバムで見させて頂きました。各ユニットからの紹介の後、北澤春樹 現センター長より、第2期5年間の計画について披露しました。第2期では、第1期で築いた基盤をさらに強化発展させ、学内連携や放射光を取り入れた新たなユニットを加え研究、教育共に充実させる方向性を提示することができました。最後に、CFAIメンバーで伊藤房雄 副研究科長よりまとめをして頂き、本研究科におけるCFAIの位置付けと将来性について改めて言及頂きました。各ユニットの5年間の歴史を20分程度にまとめることは大変で、予定時間を30分程超過しましたが、盛会の内に終了することができました。小谷先生をはじめ、多くの参加者の皆様はこの場を借りて御礼申し上げ、今後ともCFAIの発展にご協力頂けます様、宜しく願い申し上げます。

阿部研究科長挨拶



研究担当理事・副学長
小谷元子先生ご挨拶



シンポジウム会場発表風景



シンポジウム終了後集合写真





東北大学 大学院農学研究科 附属
食と農免疫国際教育研究センター



CFAI第1期総括シポジウム



CFAIの成長と将来性

第1期(2015-19)の総括と第2期計画

オンライン併用開催



1. 農学研究科長挨拶:阿部敬悦 研究科長
2. 東北大学理事挨拶:小谷元子 理事・副学長
3. 第一期5年の取り組みと成果(15分):高橋英樹
4. 総括と研究紹介(各20分)
 - 1)畜産免疫ユニット:北澤春樹、大坪和香子
 - 2)感染免疫ユニット:野地智法、米山 裕
 - 3)水産免疫ユニット:高橋計介、中野俊樹
 - 4)植物免疫ユニット:高橋英樹、宮下脩平

休憩(10分)

 - 5)食品評価ユニット:白川 仁、喜久里 基
 - 6)健康影響評価ユニット:原田昌彦、長澤一衛
 - 7)生産環境ユニット:伊藤幸博、陶山佳久
 - 8)産学連携ユニット、市民連携ユニット:冬木勝仁、水木麻人
5. 第二期5年の計画と将来性(15分):北澤春樹
6. 副研究科長挨拶:伊藤房雄

2020年
7月16日(木)
13:30-17:30
会場
農学研究科
大会議室



東北大学



主催:東北大学大学院農学研究科
共催:日本学術振興会研究拠点形成事業